

学習のポイント

臨時休校中ですが、生活のリズムが大きく崩れてしまっている人…いませんか？ 学習課題には計画的に取り組めて
いますか？

学校での授業ができず、自分で学習に取り組まなければいけないので大変な思いをしている人もいるでしょう。
ここでは、各教科の先生方から自分で学習を進めていく上での勉強の仕方や、ポイントを紹介します。

1年生

<国語>

- ・語句調べ(言葉ノート)
- ・臨休の課題が終わったら小学校の復習(漢字)
- ・本をたくさん読もう！

(高井先生)

<社会>

- ・積極的に地図帳を使いましょう。地図帳は、地図のページだけではなく、P.163以降の都道府県別の統計などには、人口や面積なども載っています。資料にどんどん触れてみましょう。
- ・授業で終わっているところや、プリントで学習したところは、ワークの問題に挑戦し、間違えたところを、後日再チャレンジするというような勉強をすると、学習内容が身につくようになります。

(笠原先生)

<数学>

- ・正負の数の加減を完全にマスターしよう。
- 同符号は、その符号をつけてたし算
- 異符号は、大きいほうの符号をつけてひき算です。
- 毎日10分以上頑張ろう。まずは、100マス計算、そして課題へ！

(平先生)

<理科>

- ①教科書片手にどんどん調べましょう。ワークシートの穴埋めは、ほとんどが教科書に出ています。
- ②自分で考える部分は、間違ってもいいので、考えたこと、分かったことをかいてみましょう。
- ③ワークシートで学習したところをワークで確認しましょう。

(河邊先生)

<英語>

- ①アルファベットの大文字、小文字を完璧にしましょう
- ②ヘボン式でいろいろな日本語をアルファベットで書いてみましょう。
- ③教科書の本文が読める人は音読してみましょう。

(板垣先生)

<音楽>

- 校歌をしっかりと覚えること。

(矢崎先生)

<家庭科>

- お手伝いをたくさんしよう。

(橋本先生)

2年生

<国語>

- ・語句調べ(言葉ノート)
- ・臨休の課題が終わったら1年生復習(漢字・文法・古文)
- ・本をたくさん読もう！

(高井先生)

<社会>

- ・1年生の範囲を総復習する絶好の機会と捉え、忘れているところ、苦手なところを思い出そう。
- ・特に「武士の台頭と鎌倉幕府～東アジア世界との関わりと社会の変動」を学校が始まったらテストするのでしっかり準備をしておくこと。

<数学>

- ・文字式の計算練習を繰り返さよう。難しいなと感じたら、1年生の「正負の数」や「文字と式」の復習から始めよう！
- 数学は日々の積み重ねです。スキマ時間を活用して苦手を少しずつ克服していこう！

(福澤先生)

<理科>

- ・ワークシートを使って新しい用語を学習しましょう。消化の流れや消化酵素の名前をしっかりと確認しておくこと。
- ・学習した内容は問題を解いて定着させましょう。

(橋本先生)

<英語>

- ①1年生のワークの問題を英文を隠して日本語を見て、英文にしましょう。同じ英文を何度も練習して覚えるくらい書きましょう。
- ②予習をしっかりとおきましょう。本文を音読して、意味を考えてみましょう。

(板垣先生)

<音楽>

- いつも心に歌を。

(矢崎先生)

<家庭科>

- お手伝いをたくさんしよう。

(橋本先生)

3年生

<国語>

- ・語句調べ(言葉ノート)
- ・臨休の課題が終わったら1,2年生復習(漢字・文法・古文)
- ・本をたくさん読もう！

(高井先生)

<社会>

- ・教科書の資料(表やグラフ)に積極的に触れましょう。教科書の文章をただ読むだけではなく、表やグラフなどの資料と照らし合わせながら読むことで、歴史の流れや、社会の変化に気づくことができます。
- ・授業で終わっている所や、プリントで学習したところは、ワークの問題に挑戦し、間違えたところを、後日再チャレンジするというような勉強をすると、学習内容が身につくようになります。

(笠原先生)

<数学>

- ・乗法公式が染みつくまでひたすら計算練習。この後の授業内容でも公式はバンバン使います！

(加藤先生)

<理科>

- ①教科書片手にどんどん調べましょう。ワークシートの穴埋めは、ほとんどが教科書に出ています。
- ②自分で考える部分は、間違ってもいいので、考えたこと、分かったことをかいてみましょう。
- ③ワークシートで学習したところをワークで確認しましょう。

(河邊先生)

<英語>

- ①2年生の時に学習した問題を英文を隠して英作文しましょう。同じ英文を何度も書いて覚えるくらい練習しましょう。
- ②予習をしっかりとおきましょう。本文を音読して、意味を考えてみましょう。

(板垣先生)

<音楽>

- いつも心に歌を。

(矢崎先生)

<家庭科>

- お手伝いをたくさんしよう。

(橋本先生)